

2017年7月2日(日)10:00-16:00

防災ゲーム Day2017in そなエリア東京 イベント実施報告書

主 催

東京臨海広域防災公園管理センター
一般社団法人防災教育普及協会

後 援

江東区

一般社団法人防災教育普及協会

<http://www.bousai-edu.jp/>

2017年7月

1. はじめに

相次ぐ自然災害を受け、防災教育への期待と関心はますます高まっています。その反面、具体的なノウハウの学習や実践、効果の検証などに課題も残されています。弊社では、こうした課題の解決に向けて様々な分野の専門家、有識者の知見を結集し、防災教育の普及啓発に取り組んでおります。

この度、2016 年度の実施に引き続き、東京臨海広域防災公園管理センター様のご協力、江東区のご後援を得て、防災教育教材やプログラムの普及啓発を目的としたイベント『防災ゲーム Day2017in そなエリア東京』を企画・実施しました。

2. イベント概要

イベント名 : 防災ゲーム Day2017in そなエリア東京

日時 : 2017年7月2日(日) 10:00~16:00

会場 : 東京臨海広域防災公園そなエリア東京

(アクセス: ゆりかめも「有明」駅徒歩2分)

内容 : 防災ゲーム、教材、資料の展示及び体験型講座

参加費 : 無料

参加申込 : 不要です。当日、会場にお越しください。

主催 : 東京臨海広域防災公園管理センター、一般社団法人防災教育普及協会

後援 : 江東区



(イベントチラシ)

A detailed time table for the event. The title is '7月2日(日) 10:00-16:00 『防災ゲームDay2017inそなエリア東京』 タイムテーブル'. It lists the organizers and sponsor. The table is organized into four columns representing different activity areas: '2階 しっかりゲーム体験', '1階 かんたん雑談体験', '2階 気軽に体験も見学', and '1階 ゆったり展示見学'. Each column contains a list of activities with their respective times and descriptions. For example, under '2階 しっかりゲーム体験', there are activities like '防災ゲーム体験' and '防災ゲーム体験' at 10:00-11:00. The table ends at 16:00.

(タイムテーブル)

2.1 イベント成果

2016年に引き続き2回目となる今回は、出展・紹介の規模を大きく増やし35種類以上の防災ゲームやプログラムを紹介しました。うち4つのプログラムについての体験講座を実施し、各回約30名が参加しました。また、新たに平田直・防災教育普及協会会長（東京大学地震研究所教授）による特別講義を実施し定員を上回る約40名が聴講しました。

イベント全体の参加者は親子連れなどを中心に約800名以上と、昨年の353名の2倍以上となりました。イベントへの出展団体が増えたことにより、出展団体同士や参加者との交流の機会にもなりました。

2.2 イベント内容

◆専門家による特別講義&防災ゲームコンシェルジュ

当日は防災ゲームや教材、プログラムの体験に加えて専門家による特別講義や防災ゲーム、教材、プログラムに関するコンシェルジュカウンターの設置を行いました。防災ゲームや教材をより有効に活用するための知識習得から気軽な相談まで対応しました。

(1) 特別講義

テーマ『首都直下地震に備えて』

講師： 東京大学地震研究所教授・防災教育普及協会会長 平田 直

時間： 12:40～13:20頃

場所： 2階レクチャールーム

定員： 先着 30名程度



(2) 防災ゲームコンシェルジュカウンター

『防災ゲーム、教材、プログラムの指導方法、活用のポイントなどお気軽にご相談ください。』

コンシェルジュ： 防災教育普及協会事務局長 宮崎 賢哉

時間： 10:00～16:00

場所： 2階展示エリア

◆出展及び体験可能な防災ゲームや教材、プログラム

- ・まちの BOSAI マスター、防災すごろく、防災つりぼり (NPO 法人高齢者住まいる研究会)
- ・災害想定ゲーム「KIZUKI」(NPO 法人高齢者住まいる研究会)
- ・ひなんくんれんゲーム (NPO 北海道防災教育研究センター赤鼻塾)
- ・学校向け教材「トランプで学ぶ自助・共助・公助」(防災教育普及協会)
- ・学校向け教材「“不思議な地図”で避難誘導に協力しよう！」(防災教育普及協会)
- ・防災学習ツール (東京臨海広域防災公園)
- ・教科横断型の防災教育キット (神戸学院大学防災・社会貢献ユニット)
- ・障がい者の災害対策チェックキット (国立障害者リハビリテーションセンター)
- ・災害情報&コミュニケーション演習-DICE(ダイス)- (災害救援ボランティア推進委員会)
- ・『被災』疑似体験ワークツール-SaTa-Sen(サタセン)- (みえ防災市民会議)
- ・逃げ地図ワークショップ (子ども安全まちづくりパートナーズ)
- ・減災まちづくりMAPワークショップ (東京大学工学部 廣井研究室)
- ・帰宅困難者支援施設運営ゲーム KUG (東京大学工学部 廣井研究室)
- ・ジュニア向け災害医療教材「災害医療クエスト」(産業技術総合研究所)
- ・展示「巻き起こそう、気象災害軽減イノベーション！」(防災科学技術研究所)
- ・ぼうさいクイズビンゴ (危機管理教育研究所)
- ・紙ぶるるほか「ぶるるくんのじこしょうかい」より (名古屋大学福和研究室)
- ・防災教育教材「避難行動訓練 EVAG (豪雨災害編)」 (国土防災技術株式会社)
- ・災害対応カードゲーム教材「クロスロード」(チームクロスロード)
- ・防災すごろくゲーム「GURAGURA TOWN」(NPO 法人プラス・アーツ)
- ・防災カードゲーム「なまずの学校」(NPO 法人プラス・アーツ)
- ・防災カードゲーム「シャッフル」(NPO 法人プラス・アーツ)

- ・避難所運営ゲーム「HUG」 （静岡県）
- ・災害状況イメージトレーニングツール「目黒巻」（東京大学生産技術研究所目黒研究室）
- ・災害対応シミュレーションゲーム「ダイレクトロード」（神戸市消防局）
 - ※2017年度指導担当（中央大学チーム防災）
- ・学校向け教材「うさぎ一家の防災グッズえらび」（防災教育普及協会）
- ・学校向け教材「災害状況を想像する力を身につけよう」（防災教育普及協会）
- ・学校向け教材「災害時のコミュニケーションを学ぼう」（防災教育普及協会）
- ・学校向け教材「災害時のトイレアクションを考えよう」（NPO 法人日本トイレ研究所）
- ・幼児向け防災教育用カードゲーム「ぼうさいダック」（一般社団法人日本損害保険協会）
- ・小学生向け防災教育プログラム「ぼうさい探険隊」（一般社団法人日本損害保険協会）
- ・防災教育教材『カードで学ぶ非常持出袋』（神戸学院大学防災・社会貢献ユニット）
- ・iPad 防災教育アプリ「スキナのセレク島」シリーズ（パステルハートプロジェクト）
- ・気象庁ワークショップ「経験したことのない大雨、その時どうする？（含英語版）」
- ・「地域における防災教育の実践に関する手引き」（内閣府防災担当）
- ・防災ビンゴ（東京臨海広域防災公園）
- ・東京防災及び防災ノート小学校～高校版（東京都）

3. イベントのようす

イベントは東京臨海広域防災公園管理センター 2 階のレクチャールームにて『体験講座』を開催しました。また 1 階エントランスホールと 2 階展示エリアにて『展示・体験コーナー』を設置しました。

3.1 体験講座

◆ダイレクトロード（作成：神戸市消防局／指導：中央大学チーム防災・りこボラ！）

ダイレクトロードは、神戸市消防局が作成したカードゲーム＋謎解き型の防災教材です。災害時に周りの人の命を救うために必要な、現実的で具体的な行動を、仲間と協力して楽しみながら学ぶことができます。2016 年度に実施した際、指導を受けた中央大学の学生ボランティアの皆さんに、2017 年度は指導者としてご協力いただきました。



◆ひなんくんれんゲーム（指導：NPO 北海道防災教育研究センター赤鼻塾）

ひなんくんれんゲームは、子どもたちが楽しみながら避難行動や避難支援について学ぶことができるゲームです。参加者は、指導員の指示に従って避難をしながら、安全行動や障害者の避難支援などを体験しました。



◆災害想定ゲーム「KIZUKI」（指導：高齢者住まいの研究会）

「KIZUKI」は福祉施設（デイサービス）の災害対応を想定した、チーム対抗型のゲームです。参加者は3対3のチームに分かれ、お互いに人員や物品が限られる中で、課題を出し合いながら「快適度（ポイント）」をなるべく減らさないよう判断していきます。



◆逃げ地図ワークショップ（指導：子ども安全まちづくりパートナーズ）

逃げ地図は、地図上に避難ルートや所要時間を書き出し、避難にかかる時間を視覚化するワークショップです。それぞれの地域の地図に基づいて行いますが、防災ゲーム Day2017では鎌倉市の地図を用いて行われました。



◆1階展示エリア

1階展示エリアでは、防災科学技術研究所、東京大学工学部廣井研究室、子ども安全まちづくりパートナーズ、高齢者住まいの研究会による展示・体験を行いました。



◆ 2階展示エリア

2階展示エリアでは、中央大学チーム防災・りこボラ！、産業技術総合研究所、危機管理教育研究所による展示・体験、弊社による資料紹介を行いました。



3.2 出展者様からのご意見・ご要望

本イベントにご出展いただきました各団体の皆さまからのご意見、ご要望をご紹介します。

- ◆ 普及をする団体の方々と知り合えたことは、本当に価値がありました。防災教育の見本市として、また、関連団体の交流の場として、イベントがより成長、機能していくことを期待します。
- ◆ 普段活動している地域ではなかなか交流する機会のない方と情報交換をする場となりました。出展者が相互にゲームを体験したり、活動を周知したりすることができ、これから活動を続けていくにあたって有意義に感じました。
- ◆ 防災に関わるゲームが集まることはあまりないので、一度に色々見ることができてよかったと思います。このようなイベントを通じて、防災に関する知識を高め、災害時の判断力、行動力を養い、災害時の被害軽減へと繋げていけるとと思います。
- ◆ せっかくの機会だったので、展示だけでなく、出展者の参加が多ければ多いほどよかったと思います。
- ◆ 告知の時期がもう少し早ければよかったと思います。
- ◆ コンテツが多く、常時開催されている体験を含めると1日ではまわりきれないので、モデルコースがいくつか設定されていると、親子連れもまわりやすいのではないのでしょうか。

4. おわりに

『防災ゲーム Day』は、様々な団体や個人が開発・公開・販売している防災ゲーム、教材やプログラムなどを集め、多くの方に体験していただくこと、知っていただくことを目的として生まれたイベントです。特に阪神・淡路大震災以降、様々なゲームや教材が開発されていますが、ごく一部のゲームや教材、プログラムを除いて知られていないものも数多くあります。防災教育普及協会では、「防災教育チャレンジプラン※」等と連携しながら、優れた実績や事例を持つ防災ゲーム、防災教育教材やプログラムについて、イベントや各種研修を通じてより広く普及啓発に取り組みます。本イベントが、既に防災ゲーム等を開発されている方々や、使用してみたいとお考えの方々はもちろん、これから新たなゲームや教材、プログラムを開発される方々にとって学び多き場となることを期待しています。

最後に、本イベント開催にあたりご尽力いただきました東京臨海広域防災公園管理センター様、ご後援いただきました江東区様、出展・指導にご協力いただきました皆様、ご参加いただいた皆様に、厚く御礼申し上げます。

今後とも防災教育の普及啓発にご協力賜りますよう、お願い申し上げます。

※防災教育チャレンジプラン実行委員会による、全国の防災教育を支援する取り組み。

<http://www.bosai-study.net/top.html>

【 一般社団法人防災教育普及協会 】

〒102-0073

東京都千代田区九段北 1-15-2

九段坂パークビル 3 階

TEL.03-6822-9903

<http://www.bousai-edu.jp/>